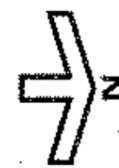
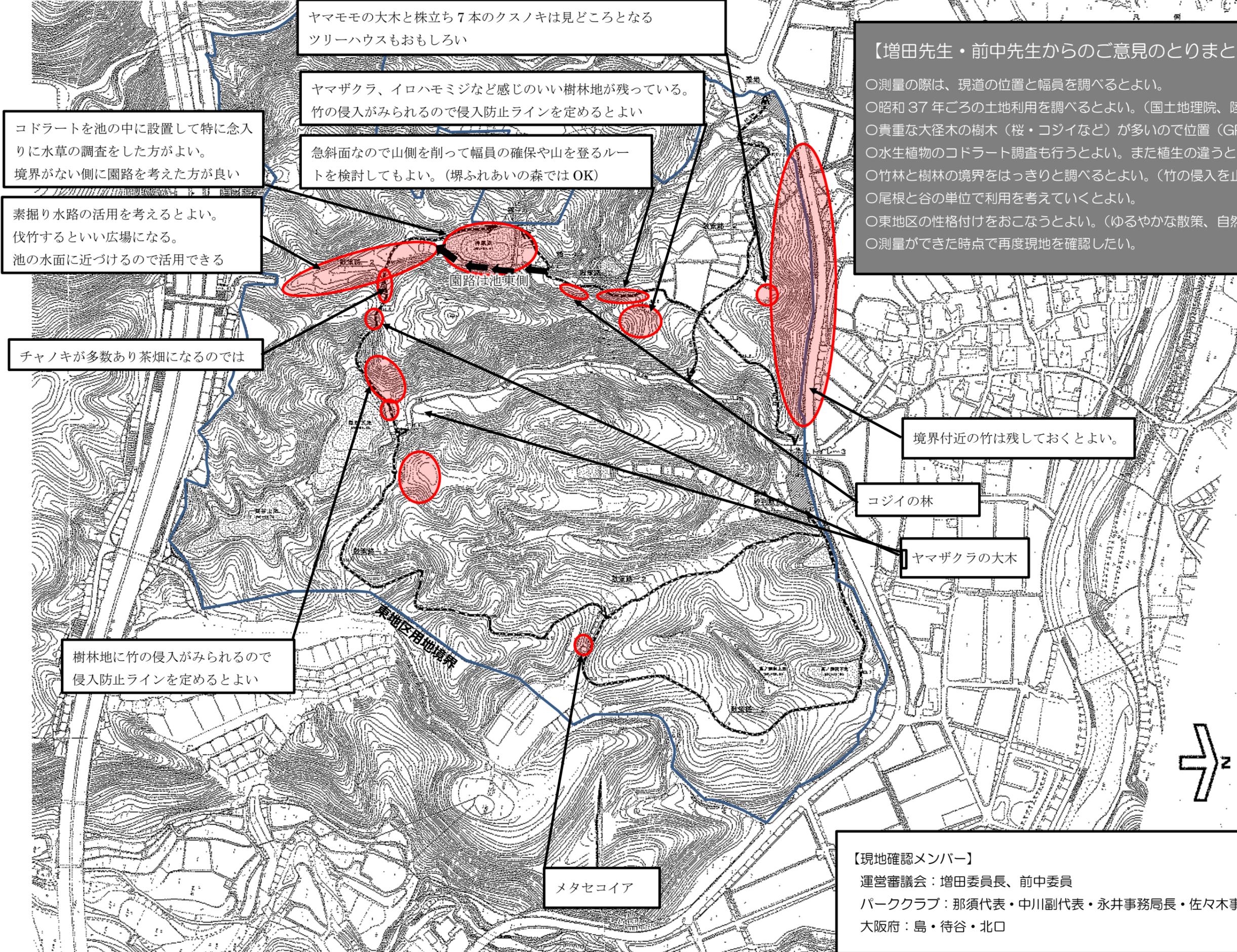


泉佐野丘陵緑地 東地区現地確認

平成 28 年 5 月 18 日

協議③



●植生調査特記仕様書（案）

①相観植生図の作成

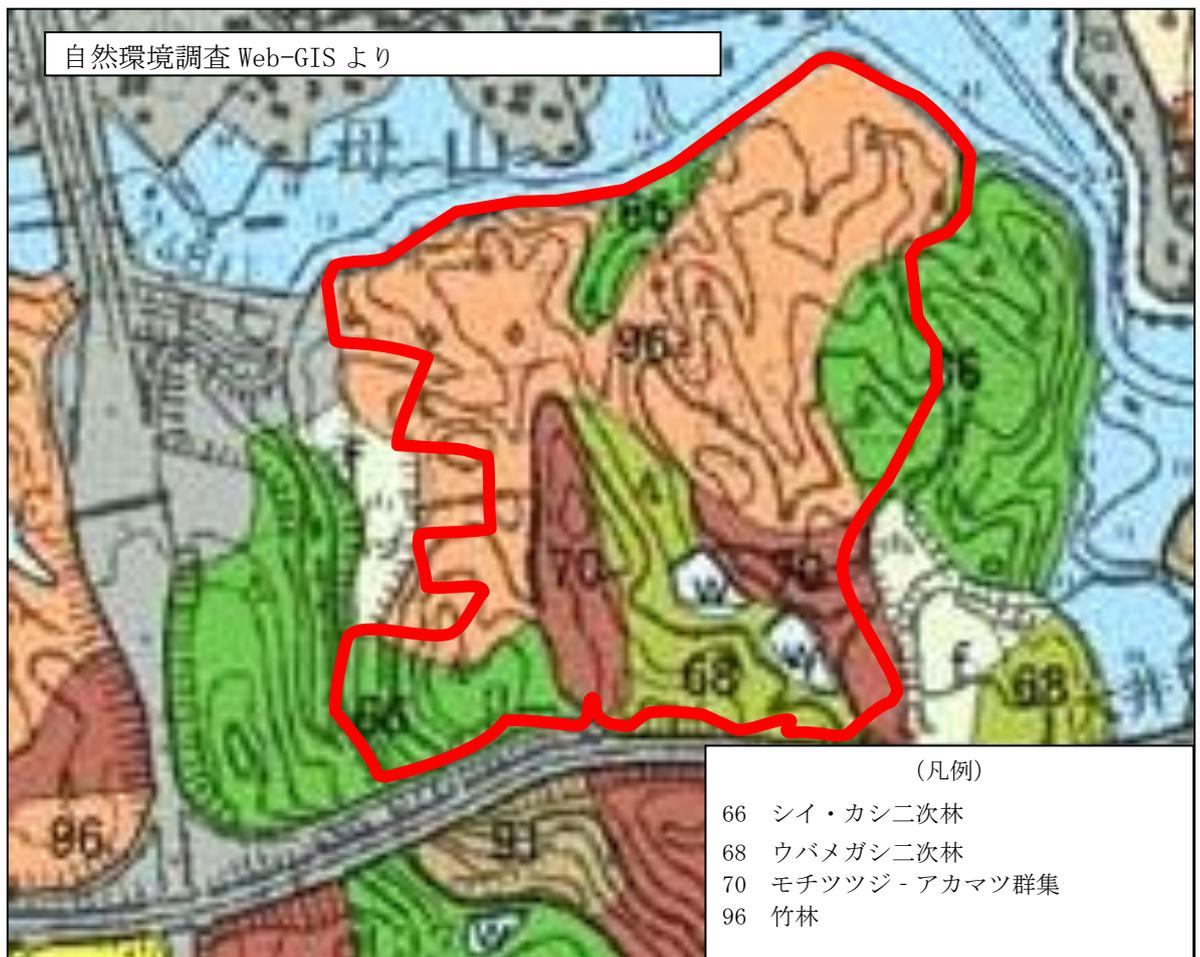
対象区域全域における現地踏査により、林分の状況を把握し、相観植生図を作成する。

②対象区域の魅力や資源発掘を目的とした、植生調査（夏～秋に実施）

環境省自然環境局生物多様性センター「自然環境調査 Web-GIS」によると、対象区域である東地区は4つのタイプ（シイ・カシ二次林、ウバメガシ二次林、モチツツジ・アカマツ群集、竹林）に分類されているため、周辺地区で植物社会学的に以下のコードラート調査（被度・群度）を実施する。調査枠の四隅に杭を打ち、調査場所を明示すること。

	コードラートの一辺 (m) ※1	コードラート数 (箇所)
シイ・カシ二次林 (66)	20	5
ウバメガシ二次林 (68)	20	5
モチツツジ・アカマツ群集 (70)	20	5
竹林 (96)	20	5
水生植物	20	3

※ 1：各群落の高さを1辺とする正方形



③ 希少植物、人為影響下の植生、特徴的な樹木、人為的活動跡の把握

今後の公園設計に活用するため、対象区域である東地区内のツバキやチャノキなど人為的影響下の植生、希少植物、巨木（ヤマザクラ・コジイなど）等の特徴的な樹木については、

位置やサイズを明確にし、希少性などを学術的に評価すること。また、踏み分け道や水田・畑作の跡地など人為的活動跡を把握し、位置を明確にすること。

④ 竹林に移行している区域及び竹林区域の把握

既存林に竹が侵入しつつある区域及び竹林の区域を把握し、図化すること。

⑤ 施設計画の見直し及び活動イメージの提案

調査結果を定量的・定性的に評価し、施設計画の見直しや活動イメージの提案に活かすこと。

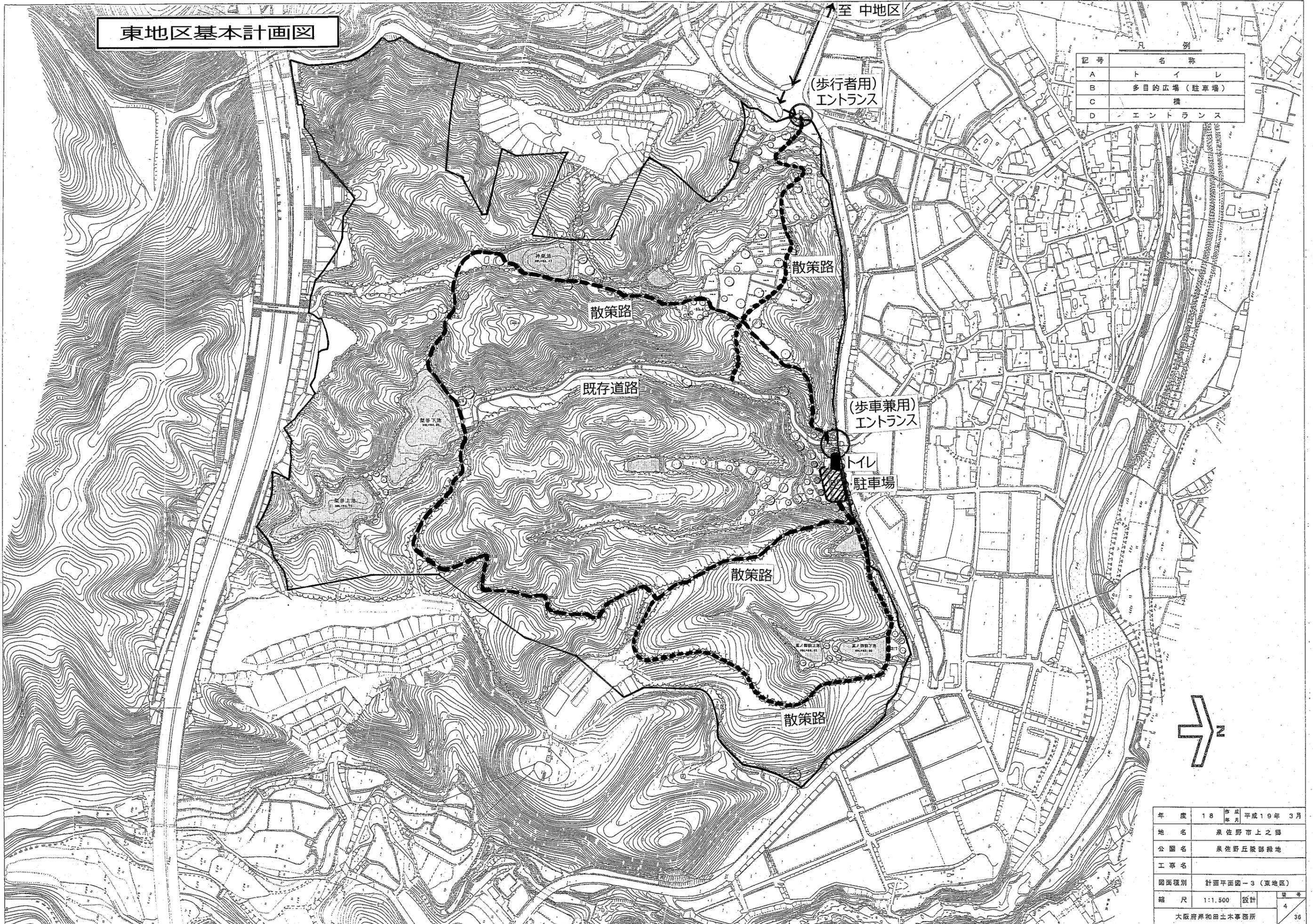
⑥ パーククラブとの情報共有

調査結果はパーククラブに適宜報告し、情報共有を図ること。

⑦ 現場講習会の開催

パーククラブを対象にした、植生調査および評価手法などの現場講習会を開催（全2回程度）すること。

東地区基本計画図



記号	名称
A	トイレ
B	多目的広場(駐車場)
C	橋
D	エントランス



年度	18	作成	平成19年3月
地名	泉佐野市上之郷		
公園名	泉佐野丘陵部緑地		
工事名			
図面種別	計画平面図-3(東地区)		
縮尺	1:1,500	設計	4
大阪府岸和田土木事務所			36

泉佐野丘陵緑地東地区について（たたき台）

■ 整備スケジュールイメージ

H28	H29	H30	H31	H32	H33
整備方針・測量・実施設計		多目的広場 (駐車場) 整備	トイレ整備	園路整備	協働作業 ----->
					(東地区概成)

■ 基本計画での整備内容

- 入口 2か所（歩行者専用 1か所、車両出入口兼用 1か所）
- トイレ 1か所
- 多目的広場（駐車場）；砂利敷き 1か所
- 散策路

■ 課題

- 園内各地に広がっている竹林の拡大抑制（どこを重点的に行うか）
- 田畑跡地の大幅な竹林の伐採
- 休憩施設・協働作業の拠点施設の整備
- 水道・下水道・電気の引き込み
- 東地区⇔中地区のアクセス（将来的なプログラム展開の仕方）

※パークセンターから東地区歩行者用エントランスまでは約 1 km